

議会だより



～新入生オリエンテーションより～
新入生の緊張を解くために、先輩達は
あの手この手で盛り上げます。

金山校の日常 No.1 「新庄南高等学校金山校」

新年度が始まり、4ヵ月が経った。1年生26人、
2年生28人、3年生20人、計78人が、①ポラン
ティア活動と生徒会活動の活発化 ②金山タイムで地
域を知る活動の活発化を目標に“自信と誇りを胸に”
生き生きと生活している。

今回から4回「金山校の日常」が始まる。



～ある目の1年生～

真剣なまなざしで制作に励む生徒達。
すっかり金山校の一員です。

6月定例会	2～3P
一般質問	4～8P (中村・須藤・高橋(浩)・沼澤 各議員)
常任委員会	9P
研修報告	10P
語る会、総文現地調査、請願審査報告	11P
県・全国広報研修	12P
東京金山会・中央研修、議会の動き	13P
町民の声・ギインコラム	14P



～挨拶は笑顔から～

登校時のマナーアップ運動の一コマ。
楽しんで挨拶運動しています。

6月定例議会

No.114

【平成30年8月3日発行】

大堰に水力発電装置を

—— 県道雄勝金山線の照明に ——

6月定例会が6月5日～8日までの4日間開催され、専決処分承認、条例の設定、補正予算等13議案が審議され、全員賛成で可決した。一般会計では西郷地域活性化センター再建断念等により1億120万円を減額し、総額42億6080万円となった。新事業として大堰に水力発電装置を設置し、県道雄勝金山線の照明に活用される。また、町民の健康長寿を推進する「町みんな笑顔の健康長寿推進条例」も設定された。下表議案一覧と質疑要旨を参照していただきたい。



水力発電で明るく

町長 4月24日、全員協議会で断念に至った経過は説明してきた。仕事にあたっては職員、付帯付きで予算を認めて頂いた議員の皆さんに大変ご心配をお掛けしたと思っております。意見集

町長 3年間支部大会の現場で見た者として鳥肌の立つ思いであったし、町の誇りでもあった。団員の朝夕休みを返上での訓練に敬意を表しつつ、ぜひ4連覇に向け頑張つて欲しいと考えており、町としても支援していきたい。

町長 基本設計の中には町の駅は入っていない。その理由としては新庄市が3ヶ所を候補として検討していること、飲食等年間通した対応や冬場の客数、道の駅としての24時間トイレ等の設置条件を考えた時、中央公民館への設置は物理的にも難しいと考えられるので、検討の上、改めて今後の方針を説明させていただきます。

町長 全国で約300の会員があり金山を含め、県内では4自治体はと検討している。高橋芳夫議員 地区公民館修繕補助の年味と共済加入の実態は。佐藤教学課長 3月の強風による凝山地区の公民館への修繕補助であり、共済加入は、ほぼ全地区で加入している。中村忠行議員 町長は無電柱化を推進する市町村長の会に参加しているが、今後の取り組みをどう考えているのか。

が参加している。今回の参加は法的な面、国の支援の面などの情報収集と位置づけてのものであった。今後のことについては、財政面を考慮しつつ、町民の景観意識の向上も含め、検討していきたいと考えている。

町長 近岡氏の土地を含め、現状での土地利用については白紙である。須藤典夫議員 旧谷口分校再建断念の反省と町長の執行責任をどう考えているのか。

約のやり方、進め方は今後の町政推進のため更に検討していきたい。矢口政一議員 最上支部操法大会での7分団は4連覇を目指し訓練を進めているが、町長の思いと、災害復旧時の対応として多面的機能補助金の使い方と一般補助金との関連についてどう考えているのか。

復旧の場合、自己対応という方法になるケースが多く、また、多面的機能補助金での対応も多くなることがある。栗田保則議員 中央公民館建設事業は、32年度着工に向け今年度設計費用が計上されているが、町の駅構想は設計の中に入っているのか。

議案への質疑応答要旨

【議案35く40号】
質疑なし

【議案41号】
高橋芳夫議員 条例の主旨と本年度探知犬検

丹健康福祉課長 研究

事業としての精度を高めることを踏まえた対応となり、条例の主旨とは特に違いはないと考えている。

【議題42く46号】
高橋浩樹議員 旧西田邸の今後の利活用は。町長 例としては、ゲストハウスとし、公舎的に使うのが良いので

6月議会定例会提出議案 —— 全員賛成で可決 ——

1. 平成29年度補正予算の専決処分				
議案番号	会計名	補正の主な内容	補正額(万円)	補正後(万円)
35号	一般会計補正予算(第14号)	ふるさと寄付の確定による積立金、除雪費助成の追加等とともに、固定資産税等、臨時道路除雪事業費補助金の追加等による財源調整など	14	45億2012
2. 条例改正の専決処分				
議案番号	案件名	議案の内容		
36号	金山町課設置条例の一部改正	総務課総合政策係を総務課から分離し、「総合政策課」としたものの		
37号	金山町職員定数条例の一部改正	人事異動と併せ、特別会計の定数の一部を一般会計に移したものの		
38号	金山町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	「総合政策課」の設置に伴い、「政策財政監」の職名などを削除したものの		
39号	金山町税条例等の一部改正	給与所得控除の見直し、たばこ税引き上げ、固定資産税の負担調整延長など		
40号	金山町都市計画税条例の一部改正	固定資産税の土地の負担調整措置の3年延長に伴うもの		
3. 平成30年度補正予算(全会計共通事項として職員人事異動に係る人件費の組替補正を計上)				
議案番号	会計名	補正の主な内容	補正額(万円)	補正後(万円)
42号	一般会計補正予算(第1号)	5/18からの大雨被害に係る災害復旧費、大堰小水力発電設置工事、地区消防ポンプ車庫改築工事補助金、介護保険繰出金、新南金山校記念事業費の追加など旧谷口分校(西郷地域活性化センター)再建費、町福祉計画策定費の減額など	▲1億120	42億6080
43号	国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 直営診療施設動定	看護補助員の人件費、エアコン修繕費など	588	4億1579
44号	介護保険特別会計補正予算(第1号)	職員人件費	391	8億2510
45号	公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	職員人件費、汚泥濃度測定器の購入など	111	1億5999
46号	水道事業会計補正予算(第1号)	事務員人件費など	18	1億9934
4. 条例設定、その他				
議案番号	案件名	議案の内容		
41号	金山町みんな笑顔の健康長寿条例の設定	町民、地域団体、事業者と町が協働して健康づくりに積極的に取り組み、生涯にわたり健やかで心豊かに生活できる地域社会の実現を共に目指すもの		
47号	除雪機械の取得	除雪用グレーダ4m級1台をコマツ山形(株)新庄支店より購入するもの		



中村 忠行 議員

町広報に求人広告を

回答 伝言板スタイルであれば可

農地の保全策は
中村忠行議員 農地を農地として管理できる体制は
 佐藤産業課長 平成28年の改正農業委員会法施行により、農業委員会での最も重要な活動に「農地の利用の最適化の推進」が位置づけられた。
 農業委員会では、農地パトロールの実施等により農地の保全が危ぶまれる箇所を発見した場合、所有者へ利用の意向を確認し、必要に応じて農地の受け手となる耕作者のマッチングを行うなど、事務局と連携して農地を活かす方法を検討して

いる。
 平成29年、8名の農業委員に加え、新たに4名の「農地利用最適化推進委員」を委嘱し、農地を農地として管理する基礎となる活動を行っている。
中村議員 農業振興計画は、「まち・ひと・しごと総合戦略」から変更はあるか。
産業課長 「まち・ひと・しごと総合戦略」と「町農業振興計画」の双方で最も密接に関係する部分は、総合戦略の重点プロジェクトの一つである「地域安定雇用プロジェクト」と考えられる。
 「町農業振興計画」においては、農業者の高齢化や、担い手問題が課題となっている調査結果を基に、様々な立場や年齢の人々の農業参加を促すことなどが記載されており、子育てや介護などによって弾力的な勤務体系を希望する主婦層や、まだまだ元気な軽作業な

に従事できる高齢者などが、新しい農業経営者あるいは農業就労者となることに期待しており、「地域安定雇用プロジェクト」に掲げられている「農業と農村の再生による雇用の創出・拡大」にも繋がる。また、町が取り組んでいる、金山型CCRC構想での現役世代のふるさと帰郷も含めながら、人材確保に取り組むという、最終的な目標や目的は共通していると考えている。
 新たな視点での振興策については、予算措置等も考慮し、具体的には平成31年度事業からと考え、今後、農業部会等で、事業展開について検討を行っている。

中村議員 実証事業の検証結果の公表は。
産業課長 「町農業振興計画」を策定したのとやPDC Aサイクルを踏まえ、事業においてどのような検証方法が適切か検討を行い、各事業に取り入れたい。
求人情報の発信による雇用促進策は
中村議員 「広報かねやま」や「お知らせ版」に、求人広告を掲載できないか。
宮林総務課長 特に、農業関係は、収穫時期なども多く、求人する方と働きたい方が、双方の情報ネットワークで情報交換ができる仕組みが必要であり、町の雇用対策協議会などを設立し、町全体として、雇用に則した求人情報を発信できないか考える時期にきていると思う。

また、農業だけではなく、他産業も含めた、町内企業の求人広告という観点では、伝言板スタイルであれば掲載は可能であり、雇用対策協議会などの設立ができないか、経営者懇話会や農業関係者、関係課で協議したい。
関連質問
 ・GIS（地理情報システム）の活用は
 ・高齢者が農業を継続できる施策は
 ・農業振興によるCCRC事業効果
 ・「農」と福祉の連携事業
 ・大規模圃場整備の事業費補助について
 ・GAP推進



落花生の試験栽培

4名の議員が町政を問う



【一般質問とは】
 年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。
 町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。

6月定例会の初日(6/5)に次の事項について一般質問が行われました。

- ◆ 中村 忠行 議員 ①町の農業振興について
- ◆ 須藤 典夫 議員 ①さらに開かれた金山町公文書公開条例に
②新「農業振興計画」の実施計画は
③着任した会田副町長の抱負は
- ◆ 高橋 浩樹 議員 ①金山町職員採用試験募集要項について
- ◆ 沼澤 道也 議員 ①農業振興計画の活用について
②小学校のあり方検討会について

※質問の順序は通告順となります。





須藤典夫 議員

誰でも請求できる
条例に

須藤典夫議員 金山町
公文書公開条例を全国
に先駆けて制定して36
年経過した。今日では
国をはじめとして全国
の自治体で制定される
ことになったことは誇
らしい。

ただ、昨年公開請求
がマスコミ関係からあ
ったが、受理されなか
ったという報告を受け
た。
ふるさと納税者も含
め、「誰しもが」請求
できる開かれた内容を
目指すべきと考えるが
どうか。
宮林総務課長 当町の

町職員採用試験のあり方を問う

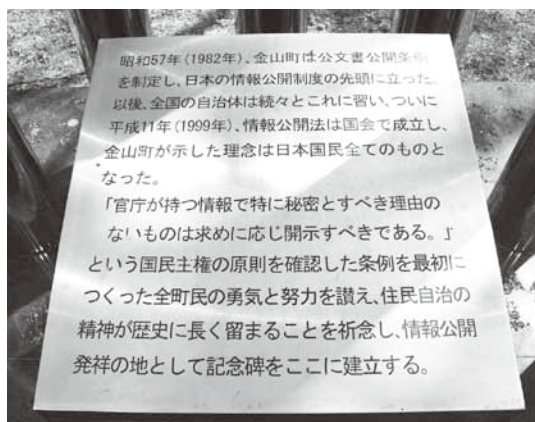
回答 開示は他を参考に内部で検討



高橋浩樹 議員

公文書公開条例におけ
る公開対象を町づくり
の主権者である住民と
し、情報の開示と併せ
町民の意識を高め、町
民が積極的に町づくり
に参加できる環境を整
え、自治意識の高いオ
ンリーワンの町づくり
のための条例という意
味合いがあるので「誰
しも」が請求できるも
のとはなっていない。
町長 納税者の方々に
は、精一杯情報は公開
していかねければなら
ない。

募集要項を変え、透明
性を高めるべきでは
高橋浩樹議員 採用試
験に議員の口利きがあ
るのではという、住民
の声を聞く。これは職
員採用試験が、県や他
市町村と異なることに
よる弊害ではないか。
町職員採用試験を管
内と比較すると、金山
と舟形が方法を変えて
いるが、その意図は。
宮林総務課長 町職員
の任用に関する規則に
特殊な選考採用を除き、
競争試験によると定め
られている。合格点数
以上を得た者から、得
点順に採用するとされ
その規定に基づいて決



八幡公園にある記念碑

も、ふるさと納税は全
国からあるので、取り
扱いは若干違うのでは
ないかと思っている。

会田副町長の抱負は
須藤議員 金山の良い
ところ、そして伸ばし
たい事柄や役場の職場
に取り入れたい県庁で
の取り組みなどはある
か。加えて、町づくり

にどのよう
な抱負をも
って臨むの
か。

副町長 金
山の良いと
ころ、伸ば
したいとこ
ろという視
点で申し上げ
れば、自
然が豊か、
それらがマ
ツチした景観の美しさ
などいろいろある。

それと、先ほど議論
になった公文書公開条
例とか、街並み景観づ
くりにも先駆けて
取り組んできた施策な
ども様々あるが、その
1つは、まちづくりの
主役は町民であり、町
民一人ひとりが自ら考
え、行動するという住

民自治が根付いている
点。

2つ目は、金山町は
同じ土俵で、どこが1
番か他の地域と競い合
っているのではなく、
金山町が常に金山町ら
しくあろうと町づくり
をしてきたこと、オン
リーワンの町づくりを
実践している
ことが金山町
の良さである
うと思う。

これをさら
に徹底し、い
ろんな施策を
進めるにも、
このことを土
台に進めてい
くべきだろう
と思う。
また、取り
組みたいこと
や課題に対し



ライトアップされる楯山

さらけに開かれた公文書公開条例に

回答 住民自治のため請求を制限

て、課の中で様々な視
点から議論を行い、そ
の中で意思を統一して、
上司なり、関係団体と
相対する姿勢を常に持
つことを一層心掛けて
欲しい。
その他として
・「新農業振興計画」
の実施計画について

定している。
試験結果の開示は、
町公文書公開条例に公
開できない文書として
学業成績が明記されて
おり、試験結果もこれ
に準ずるものと解釈さ
れ非公開としている。
不合格の方へは、試
験結果に不審を持たれ
ないよう順位と、希望
者には結果を説明する
ことも通知している。
個人情報保護が重視
されてからは、本人が
希望する場合、本人限
定で試験結果を説明す
るとともに、開示を求
めた方には、その方の
点数を開示している。
試験方法及び採点で
は、恣意的意向が入ら
ぬよう、誤解を招かな
いよう、町長は、採点
をしていない。
人物試験は、面接と
バズセッションを行い、
試験官は民間の方2名
をはじめ3名で実施し、
その場で採点する。
作文試験は、当日に

テーマ設定し、採点者
を学識経験者、教育経
験者及び行政経験者の
3名とし、コピーを持
参して採点している。
教養試験、事務適性
検査及び専門職試験は、
「最北地方市町村職員
競争試験実施協力委員
会」(委員長 新庄市総
務課長)で、一括して
公益財団法人日本人事
試験研究センターへ委
託の上、全国統一の項
目で実施し、後日結果
が送られてくる。
試験用紙及び試験結
果は、鍵をかけ私が管
理し、自身が集計した
後に判定会議を開催し、
総合点数の高い方を内
定者としている。
疑念の声が聞こえる
のは、試験方法や高得
点者から合格者として
いることを知らないか
らだと思うが、大変残
念で、採点者に対し礼
を欠く考えだと思っ
性格検査を除き全て
が競争試験による採点

である。職員の任用及
び採用は町長の専権事
項だが、今の試験方法
が口利きの温床になる
とは考えてない。
県や他市町村と試験
方法が違うとは、1次
試験で面接等を行い、
2次試験で教養試験等
を行うことと捉える。
これは、岸宏一町長
時代からで、土日を活
用し、1回で同じ試験
を全員が受けられる平
等・公平の観点、更に
受験された方を尊重す
る温かい気持ちから、
このような形で実施し
てきたものである。
高橋議員 競争試験と
言うが、一次と二次の
結果を総合採点し合否
を決定する方法は、選
考に当たっては。
人物試験と作文試験
は、少なからず人の主
観が入る。
成績主義の原則から、
一次試験(教養試験)
に合格した者しか二次
試験に進むことが出来

なくすべきで、県や他
市町村はこの一点で公
平性と透明性を確保し
ている。ここを変えれ
ば疑念も払拭される。
さらに開示を進める
ことで、疑念が少しで
も解消されるのでは。
総務課長 町民に、本
人に開示していること
を周知することで、疑
念の払拭につながるこ
思うので、検討したい
町長 事務適性検査も
大事で、この結果の高
い職員は優秀である。
採点者の様々な見方
を加え、教養、事務適
性、小論文、面接の総
合点で採用している。
口利きがあるのでは
ないかと言うご意見が
もしあったとすれば、
「それはない」と断言
して頂きたい。





研修報告 iPad利用・地域振興・議会改革を学ぶ

— 議会運営委員会・議会活性化特別委員会合同研修 —

さかほぎちよう
坂祝町
地域防災力の強化
6/27(水)

議会でICTを活用

坂祝町は人口8200人。全国で唯一、三菱パジェロ生産工場が立地する。議員は10名ながら、「iPad」を導入して5年目となり、全国から視察が相次いでいた。議員間のコミュニケーション強化と情報の共有化が進み、円滑な議会運営に貢献している。住民への各種説明もパワーポイントによるスライドを使用し、説得力があるという。

また、議会前に会期日程と一般質問の要旨を記載したチラシを新聞折り込みで配布するなど、チャレンジする議会であった。
防災士を育てる町
平成23年度から地域住民の「防災士」の資



坂祝町にて

格取得を促すため研修費の全額を補助し、各地域にリーダーを育成している。そうしたリーダーと連携して防災対策を進めるため、職員として町に「防災監」を配置し、地域防災力の強化に努めていた。

阿智村

地域計画と住民自治、全町博物館構想
6/28(木)

議会が事業評価を実施
阿智村は人口6500人、議員数12名で、「星の観察に適した場所」第1位に選ばれ、



阿智村にて

「星が最も輝いて見える場所」とも言われる。村では多い日には3千人が参加するという「日本一の星空ツアー」に取り組んでいた。また、一般的に議員は、自治体が行った事業評価で内容等を理解するが、阿智村の場合は、議会が選定した主要事業について、村とは別に自ら評価を行い、提言と共に村に提出する取り組みを行っていた。地区と町は対等な関係ごとに更新されていた。各地区には使途を問わない交付金が町から交

付制度や住民による村づくり活動を支援する支援金制度もあり、地区自治を尊重する我が町とも共通点があり、自治を維持するための具体的な仕組みに工夫が見られた。

南木曾町

宿場・文化遺産を活用した観光
6/28(木)

6つの特別委員会を設置
南木曾町は人口4300人、議員数10名。我が町より3年も早く議会基本条例を制定し、議会活動を活性化させている他、残土問題等に対応するため、「リニア新幹線対策特別委員会」など6つの特別委員会を設置し、非常に活動的な議会であった。
また、急増する自然災害に議会としても対応すべく、いざという時は「南木曾町議会災



南木曾町にて

害対策支援本部」を設置することとし、支援などの行動マニュアルを定めるとともに、一刻も早い復旧にも対応できるように要綱に明記して取り組んでいた。
インバウンドが急増
昭和40年代、古いものは壊され、新しいものを貴ぶ時代に自然と文化財保護を優先する「集落保存」という開発に取り組み、我が国初の「国の重要伝統的建造物群保存地区」に指定された「妻籠宿」が有名。今はインバウンドで訪れる外国人が急増している。

議会活性化特別委員会

認定農業者と語る会(7/6)

役場で認定農業者と語る会を開催した。冒頭、町が山形大学農学部角田毅教授の協力のもと、アンケートを経て26年ぶりに策定した「農業振興計画」について理解を深め、意見を交換した。

「二シラ農家減少によるブランド力低下」、「稲作の規模拡大が限界」、「ほ場整備が必要」、「離農者増加で耕作放棄地が増加」や「経営維持にも補助金を」といった意見要望があった一方で、「後継者に託せる魅力ある農業を」といった農業者自身の意識改革の必要性に触れる声も聞かれた。

町議会も、計画が農家の理解を得ながら、金山らしい農業につながるよう、より具体性のある実施計画として進むよう行動することを確認した。



認定農業者と語る

総務文教常任委員会

町内4つの学校を調査(7/13)

5名の委員が、町内の各学校を廻り、校長から学校経営の状況などの説明を受けた後、課題などについて意見を交換し、特に平成28年12月の前回調査で課題とされた施設状況について、具体的な改善状況を現地で確認した。また、この時期は厳しい暑さが続くことから、校舎内の温度が30度を超える日も多くなっており、児童生徒の健康面からも早期の冷房施設整備を求める声が改めて各校から出された。

町教育委員会としても各校への冷房整備は総額2億円もの大きな財源を要することから、国庫補助金を活用しながら計画的に整備を進めるべく、補助事業の採択に向けて具体的な対応を進めているとの説明があった。



明安小の中庭改修状況を調査

請願第2号

「上台川左岸側洗掘防止について」の請願審査

請願者 上台地区区長 天口滋雄
紹介議員 高橋芳夫 早坂憲明

採択



上台川の請願箇所を確認

趣旨 洗掘による法面崩壊で農道利用に支障が生じている。早期の改修工事が実現できるよう関係機関に意見書の提出を求めるもの。

結果 産業厚生常任委員会の審査のとおり「採択」とし、意見書を県知事に提出することも決定。後日、最上総合支庁を通じて提出した。

「読まれ・伝わる」議会だよりへ 広報研修

クリニックで アドバイスを受ける

県町村議会広報研修会（5/31 山形市）

全国町村議会広報コンクルールの審査員を務める議会広報サポーターの芳野政明氏の講話に続き、当町の議会だより112号を含む16町村がクリニック（診断）を受け、「住民に読まれ、伝わる、議会広報編集のポイント」について、多くの実例を交え分かりやすく解説していただいた。

住民目線に立って、読みたくなる「議会だより」を
目指し、
一層の見出しの工夫や写真イラストの活用も含めて、
更に追及
していきたいものである。



県町村議会広報研修会

広報づくりのヒントを学ぶ

全国町村議会広報研修会（7/11・12 東京都）

○読まれる広報づくりを

自治体広報公聴研究所長の金井茂樹氏から、「伝わる議会報づくりのヒント」について聴いた後、全国12議会報の企画、編集の各ポイントから評価すべき点、改善すべき点を詳しく解説された。特に、編集方針を明確に取捨選択し、聴活動とセットの親しみやすい議会報づくりが大事と話された。

今後も改善に努め、「読みやすい、親しみやすい」と手に取ってもらえる金山らしい議会だよりに向け、皆さんの関心に寄り添う紙面づくりに励みます。



全国広報クリニック

○朝日新聞社を訪ねて

また、翌日は朝日新聞東京本社を訪ね、編集、印刷、梱包、発送までを見学した。約6千人が働くビル内には印刷工場もあり、毎日届く原稿用紙3万枚もの取材記事から選び、見出しを付け、紙面に割り付け、校閲（チェック）後に、全国に27ヶ所ある印刷工場で朝夕刊8百万部が印刷されていた。

最近では、スマホやパソコンで見える「電子版」にも対応していた。読者ニーズを常に意識した改革が進められており、規模は違えども大変参考になった。



朝日新聞東京本社を見学

東京金山会と厚労省訪問 (6/17・18)

60回記念を迎えた東京金山会（6/17）

東京金山会第60回記念総会が、東京日暮里を会場に、50名を超える金山からの参加を含め、240人程の参加で開催された。
昭和34年に創立し、伊藤長助氏、栗田惣治氏、近岡秀輔氏、阿部保吉氏、柿崎治三郎氏と引き継がれた会長は、現在6代目の大場加枝子氏に引き継がれ、会員の支えのもと脈々と歴史を刻んでいる。
総会後の懇親会は、地元の永山茂樹さん・棟梁さんの歌や丹倫太郎さんの日舞などのアトラクションもあり、懐かしきふるさとを語り合いながら盛会裏に終了した。



持ち込んだ産品も大好評

厚労省で「働き方改革」を学ぶ（6/18）

厚生労働省を訪ね、「働き方改革」について、担当の関口・長谷川両係長から、講話を聴いた。
特に、長時間労働の是正や多様な働き方の実現、さらには、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保などについて説明頂いた。
その後、昼食をとりながら、大沼みずほ厚生労働大臣政務官と意見交換することができた。
中央の景気動向とはかなり距離がある地域経済の実態も訴えながら、地方創生をさらに進めるため、労働法制と労働実態を把握する必要性を改めて感じた。



大沼みずほ厚生労働政務官と

議会の主な動き（4月～6月まで）

4月 2日(月)	転入教職員辞令交付式・歓迎式	役場
5日(木)	町体育協会・町スポーツ少年団合同表彰式	中央公民館
6日(金)	認定こども園めぐり入園式	認定こども園
7日(土)	各小学校入学式、金山中学校入学式	各学校
8日(日)	新庄南高等学校金山校入学式	新庄南高金山校
24日(火)	議会全協協議会、議会活性化特別委員会	役場
29日(日)	消防春季演習	町民グラウンド

5月 2日(水)	町健康づくり講演会	改善センター
3日(木)	カタクリの里まつり	町内
11日(金)	町交通安全母の会総会	役場
14日(月)	特定非営利活動法人さわやかサロン総会	やくし苑
16日(水)	町観光協会総会	役場
17日(木)	町防犯協会総会	役場
18日(金)	もがみ北部商工会通常総代会 町立金山診療所経営委員会	真室川町 金山診療所
19日(土)	金山中学校体育祭	金山中学校
21日(月)	町青少年育成町民会議総会	改善センター
22日(火)	知事を囲む町村自治振興懇談会	山形市
24日(木)	国道47号・新庄酒田道路建設促進同盟会総会	新庄市
25日(金)	町議会運営委員会	役場
	新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会総会他	役場
	金山親交会	町内
27日(日)	各小学校運動会	各小学校
28日(月)	～29日(火)	
	全国町村議会議長・副議長全国研修会	東京都
30日(水)	町森林組合総会	改善センター

6月 1日(金)	最上開発協議会総会・同懇談会	新庄市
2日(土)	米の娘ファーム「農場HACCP認証」を祝う会	町内
5日(火)	町議会6月定例会本会議	役場
6日(水)	総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会	役場他
8日(金)	町議会活性化特別委員会、本会議、議会運営委員会	役場
9日(土)	金山農業協同組合通常総会	中央公民館
11日(月)	町表彰受賞者会総会	やくし苑
13日(水)	最上地方町村議会議長会例会、県町村議会議長会臨時総会	役場他
14日(木)	～15日(金)	
	新庄湯沢間高規格道路要望会	山形、仙台、東京
17日(日)	～18日(月)	
	東京金山会総会参加・議員中央研修会(厚労省)	東京都内
19日(火)	町都市計画審議会、町政策講演会	役場
21日(木)	最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会総会	新庄市
	最上地区広域連合議会運営委員会、同全協協議会	新庄市
24日(日)	町消防操法大会	グリーンバレー神室
25日(月)	最上地区広域連合議会6月定例会	新庄市
26日(火)	町生徒指導連絡協議会総会	中央公民館
27日(水)	～29日(木)	
	町議会運営委員会・議会活性化特別委員会合同研修会	岐阜県坂祝町・長野県阿智村・南木曾町他



町民の声

金山町認定農業者会
会長

今井正人さん
(安沢・54歳・今井園芸(株)代表)

金山型農業への支援対策強化を

去る7月6日、議員と語る会が行われ、会から14名が参加し、町新農業振興計画の評価、町農業の課題、個人の現状と課題を全員が報告し合った。

担い手対策を、基盤整備の促進を、小規模でもやれる農業を、大規模、法人化への支援強化を、認定農家制度の有利性を、景観と農業振興の連携を、そして、新農業振興計画への具体策の提示を、等多くの意見が出された。

認定農業者会の会員数は125経営体

私たちの会は、個別115、法人10の125経営体となっていて、経営実態が多様化している。小規模複合経営、大規模経営、法人経営と経営方向の違いもあり、会としての交流もむずかしくなっている。

町農業推進上でも、多様性に対応することはむずかしいことと思われるが、多様性は、多様な取り組み方向も見出せる事にもなると考える。

会としても、今まで以上に交流を深め、自分たちの仕事と金山農業に活力を見出し、いけるように活動を活発化していきたい。

こんなことをして欲しいが

- 町単独での補助事業の設定。国、県では大規模層中心となっているが、大小が協力し合って地域農業があるのではないかな。
- 基盤整備の促進。町・農協が、リーダーシップをとって進めていくことが重要ではないかな。
- 担い手対策の強化。人手不足も含め、労働力の確保が重要で、都会人、外国人も含めた検討が必要ではないかな。
- 経営意識の転換。規模の大小に関わらず、事業継承をどうするか農家意識の転換が大切では。

「場」づくりとして語る会の継続を

今回の語る会は、聴いてくれる「場」としていいことと思われるし、意見を発表することで、自分自身や会のことを見つめ直すいい機会にもなった。今後も継続してもらいたいし、会員の交流を活発化したいと考えている。

●全員協議会について

地方自治法に則り町議会会議規則により設置している。議員全員で構成し、「議案の審査又は議会の運営に関し協議・調整するための場」とされ、会期中に限らず、必要に応じて議長が招集する。

執行機関である町としても、行財政運営上の重要問題や対外折衝事項等について議会の意見を求めることも多くあることから、町執行側との意見調整としての機能は大変有益なものとなっている。

ただし、全員協議会はあくまでも「協議・調整の場」に過ぎないため、全員協議会としての意志表示はできても、議会としての意思決定をすることはできない。

議会の決定、つまり議決は「本会議」にのみ与えられた権限であり、議員全員で構成する全員協議会であってもこれに代わることはできないとされることから、本会議や委員会同様の実質審議となることのないよう節度ある運用が求められる。

議会豆知識 No.13

9月議会定例会は9月5日(水)～13日(木)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

ギョウコラム No.7

●七月一日、山形県内でも熱中症の疑いで救急搬送された人は15人を超えた。夏至が過ぎ、夏の暑さはこれから本番です。幼い子ども、高齢者の方、外でスポーツをする人、冬の寒さも大変厳しいですが、夏の暑さも非常に恐ろしいと認識して欲しい。

●まさか!! 板橋地区の民家近くに子熊が現れた。野生動物が人間の領域を犯していることは知っていたが、平坦なこの地区までとは。野生動物が領域を犯しているのではなく、人間がもっと考えなければならぬ時が来ているのでは。(文責 高橋 芳夫)

発行責任者

■ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

■ 委員長 沼澤 道也
■ 副委員長 高橋 芳夫
■ 委員 高橋 忠行
 高橋 浩樹
 早坂 憲明

* * * * *

